

政策調整会議の概要

開催日 平成26年10月16日(木)

◎項目

- 1 平成27年度予算編成方針について【総務部】
- 2 平成27年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】

◎内容

- 1 平成27年度予算編成方針について【総務部】

総務部から、資料に基づき平成27年度予算編成方針について概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 平成27年度予算では、既存事業を積極的に見直し、事業のバージョンアップを図るために、昨年度に引き続き「課題解決先進枠」を設定し、課題解決先進県を目指す事業へ重点的に予算を配分していく。
- ・ 裁量的・経常的経費については、昨年度と同様の5%のマイナスのシーリングを設定している。厳しい部局もあると思うが、昨年度と同様、個別にヒアリングを行った上で対応したい。
- ・ マイナスシーリング設定の目的は単に予算の削減ではなく、既存事業のスクラップアンドビルドを徹底的に行うことで、限られた予算の中で新陳代謝を促進し予算の質の向上を図っていこうというものである。
- ・ 単なる予算の一律の削減ではなく、事業間のメリハリにも十分留意をし、PDCAサイクルを回していただき、実効性のある事業の構築に努めていただきたい。

(副知事)

- ・ 事業のバージョンアップに関して色々と知恵を絞り、財政課とも相談しながら、予算編成に当たってもらいたい。

- 2 平成27年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】

総務部から、資料に基づき平成27年度知事部局組織・定数の改正方針について概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 平成27年度の知事部局3,300人体制に向けて、引き続きスリム化を図りながらも、緊急性・重要性の高い分野に対して職員を重点的に配置していく。
- ・ スリム化を図る中で、喫緊の行政課題に対応する人員を確保するためには、当然さらなる見直しが必要になってくるので、徹底したスクラップアンドビルドを行っていただきたい。各部局においては、まずは部局内で徹底してスリム化を行っていただいたうえで、新たな県政課題に対応していただきたい。

- 全体最適の視点から、各所属における業務の状況などを勘案しながら全庁的な調整を行い、適正な人員配置に努めるようにしていく。その際には、昨年と同様に、引き続き職員の再任用などを積極的に行うようにしたい。